



校長室より



令和5年8月18日

No.9

「10年に1度程度」の猛烈な暑さと気象庁が予測した今年の夏、本当に危険な暑さとなりました。また、お盆には台風7号が紀伊半島を直撃しましたので、予定変更を余儀なくされた家庭もあったのではないのでしょうか。

夏休み中に、児童生徒の元気な姿を見ることができなのが登校日です。二学部小学部は8月1日（火）～2日（水）、日高川町で校外宿泊学習を行いました。川遊びや水中生物の採集・観察を楽しみました。家族と離れての一泊二日の中で、体験すること、学ぶことが盛りだくさんであったと思います。自信をつけたことを二学期からの生活にも生かして行ってほしいです。

8月2日、二学部の中学部・高等部は、KDDI「スマホ・ケータイ安全教室」事務局に講師を依頼し、各教室とつないだオンラインで、スマートフォンや携帯電話を活用する中で危険やトラブルを未然に防ぐための知識を学びました。家庭で話し合い、ルール作りをしていきたいですね。

和歌山病院に入院して夏休みを過ごしている一学部の児童生徒たちも、登校日は、久しぶりに先生たちと話をし、歌を歌い、体操をしたり、水遊びや夏祭りをしたりして、楽しい時間を過ごせました。

夏休み中、地域の高校生を対象にボランティア教室が開催されました。三日間にわたるプログラムが用意されています。座学だけではなく、支援学校の教材に触れる体験や、身体障害者や視覚障害者の疑似体験もできます。視覚障害体験用メガネを装着して歩行を体験した学生は、ほんの小さな段差が障壁となることを実感していましたね。

ボランティアは楽しんで続けていくことが大切です。自分が行っていることが地球のため、人のためになっているのだという想いで、これからも楽しんで活動をしていてもらいたいと思います。

